

第8日

平成25年9月10日（火）

午前10時零分開議

○議長（手嶋源五君） これより本日の会議を開きます。

なお、本日の出席議員は20名で会議は成立いたします。

本日の議事日程については、お手元に配付のとおりであります。御了承願います。

日程に従い、9日に引き続き、一般質問を行います。

それでは、18番実藤輝夫議員の質問を許可します。18番実藤輝夫議員。

（18番実藤輝夫君登壇）

○18番（実藤輝夫君） 皆様、おはようございます。本定例議会の一般質問の最後に当たりました18番議員実藤輝夫でございます。

きょうは通告1、2、いたしておりますけども、緊急要件としてソフトバンクを朝農跡地に誘致するというを中心一般質問をさせていただきたいと思っております。

さて、8月3日に福岡ソフトバンクホークス球団が現在の雁ノ巣から移転するというのが発表されました。それ以来、私は、このホークスを我が郷土、朝倉に誘致することが、今後の朝倉市浮揚のために重要かつ必要なことであると思ひながら今日に至っております。この間、各市がそれぞれ郷土の発展をかけて続々と名乗りを上げてきました。現在においても15市6町、それ以上の市がまた上げようといっております。

さて、きょうは8月20日に全協にて市長がホークスの誘致をしたいという旨も質問の中で回答されました。しかしながら、その中には、他の候補地、民間地を探すということが前提で、私が朝農跡地があるのではないかと質問いたしましたら、諸般の事情、あるいはいろいろなクリアしなければならない点があるから、今のところ考えていないという回答がございました。

私は、それまでもいろいろな人からの情報、そして他市の動きを見ながら、一刻も早く体制を整えて候補地を決定し、一丸となって進むべきである、このような気持ちでございましたので、もはやこれは自分も議員の1人として、特に市民の1人として立ち上がらなければならない、20日の日、全協が終わりまして、それまでつくり上げておりました原稿を手直しし、即、印刷会社に印刷を頼み、4日間ででき上がりました。24日の夜、そして緊急に賛同していただく有志の会をつくり、25日の夕方、二十数名の有志の会をつくりまして、そして、その次、25日、26日、早速、皆さん手分けしてチラシを配布し、31日のソフトバンクホークスを朝農跡地に誘致しようというタイトルの誘致する会を催しました。フレアス甘木は全席126の座席であります、延べにして180を超す、後で数えてみますと、入れかわり、書いてない方を含めると、およそ200人の人たちが参集していただきました。わずか4日間の配布、お知らせのやり方で、これだけの方が、遠方からは杷木から、朝倉から、秋月から、あちらこちらからお見えいただいて、ホークスを誘致することの必

要性、適地は朝農しかない、これで一生懸命頑張っていこうということで終わりました。

誤解のないように、私どもは12日に開会が予定されております大集会に向けて、別働隊として起爆剤としてみんな頑張っていこう、別々の行動はとるまい、私は二、三日前から、メールで二百数十名の方に12日の決起大会に参加を呼びかけております。私たちの小さな動きかもしれませんが、100の論議よりも1の実行、決断と実行をもとに私たちはやっていかなければならない。これに賛同して、あちらこちら、しかも悪天候の中に配布していただいた、あるいは勧誘していただいた方々の熱き血が、これから先の誘致活動に大いに役立ち、ともに市長を中心として手を携えながら一丸となって頑張っていきたいという覚悟でございます。

以下、これから質問席において質問いたしますが、質問は全般におきましてはこれまでの総括、厳しい問題が出てまいります。これは他市との関係であります。その後には、一丸となってどうしたらソフトバンクを誘致できるのか、私なりに提案をしていきたいと思っております。100の論議よりも1の実行、決断と実行のもとに私たちはこれからの誘致活動に頑張っていきたいと思えます。

以下、質問席において続行いたします。

(18番実藤輝夫君降壇)

○議長(手嶋源五君) 傍聴席にお願いをいたします。議場内は静粛に、拍手はなさらないでください。お願いいたします。

18番実藤輝夫議員。

○18番(実藤輝夫君) 熱き思いの応援だと思いながら、具体的な質問をしてまいります。

今、登壇して申しましたように、非常に競争激化の中でございますので、ただ単に、これから先、どうしたら頑張ったらいけるかということだけではなくて、これまで約40日間にわたる経過の中で、これからの活動のヒントが必ず出てくるというふうに思っておりますので、もしも議場の中でも、それは今さらというような声が聞こえましたならば、後々、私に面と向かって言っていただきたいと思います。

まず、市長にお伺いします。市長はいつこの移転計画を承知されましたか。

○議長(手嶋源五君) 市長。

○市長(森田俊介君) そのことに論ずる前に、実藤議員、議員として今日までホークスの誘致の件でいろいろと御活動いただいとること、心から敬意を表したいと思えます、感謝申し上げたいと思えます。

さて、そこで、いつ知ったかということでもありますけども、8月3日の新聞で存じ上げました。

○議長(手嶋源五君) 18番実藤輝夫議員。

○18番(実藤輝夫君) これは市長の人脈、その他の問題が今後入ってまいりますので重要なところです。

副市長、あなたはいつ知りましたか。

○議長（手嶋源五君） 副市長。

○副市長（片山 潔君） 私も同じく 8 月 3 日の新聞報道で知りました。

○議長（手嶋源五君） 18 番実藤輝夫議員。

○18 番（実藤輝夫君） それでは、ホークス 3 軍ですけども、2 軍、3 軍で 3 軍が 2011 年から設置されるということで、雁ノ巣球場が、もうここは必ずしも適地ではない、これは福岡市との借地料の問題もありますし、いろんな問題があった。こういう動きは前々からあつとるわけです、それを承知してなかったということですか。

○議長（手嶋源五君） 市長。

○市長（森田俊介君） 承知しておりません。

○議長（手嶋源五君） 18 番実藤輝夫議員。

○18 番（実藤輝夫君） ここが一番最初の大問題なんです。市長は県議 5 期以上されて、副市長もずっと地方課で全体の動きがわかってるはず。これは、きょう傍聴も来られてますんで、この話が出たのは西方沖地震のときからですよ。そのときに、これ球団の、だからしかめ顔しないで、知らないんだったら謙虚に聞いてください。そして、3 年前、出たときに、近隣の市は全て、全てじゃありません、承知したところは、その話をホークスが移転するかもしれないという話がずっと出ておりましたので、なぜそんな話が出てくると、これは推論ではなくて、皆さん、びっくりしたんじゃないですか。8 月 3 日に発表されて、8 月 5 日に大牟田は手を挙げたんです、2 日後ですよ。しかも、この中の中身を、市のほうからもらった資料によりますと、もう既に面積、誘致場所、これ市からもらったんですけど、こういうふうな、これは配付されたんですけど、これによりますと、大牟田市市有地・みなと産業団地 6.8、日本コークス工業、旧三井鉱山、こういった形で出てきて、あとは枚挙にいとまがありません。この後、1 週間で出てきますから、1 週間で 10 出てきたわけです。このときに取り組みが知りませんという、知らなかったということを明確に言われましたが、もう既に他の市町はこういう動きがあるということで、2 日、3 日で結論が出ますか、遅くなりましたという話ですけども。

だからいろんな意味で、早い遅いがいいか悪いかなんて論議をここでやる必要はありませんが、そういった情報というものを常々、市長以下、私たちは持つてなければならない。これがこれから先の、後の後半戦でかなりやりますから、この問題についての一番大事な前提ではないか。副市長も知らなかった、ほとんどの方がこの動きを知らなかったと言うんだけど、市長は私は恐らく知っておったと。しかしながら、諸般の事情で今日に至ったというふうに言われるかなと思ったら、いきなり知りませんでしたという話は、何をやってたのかなと。もう近隣の市町は、もう全て発表されるということもわかってましたから、全部根回しをして、議会からいろんなところに、しかも民有地まで押さえるという案までつくって手を挙げたわけですよ、これだけの勢いを示してきた。これに対して市長は

どう思いますか。

○議長（手嶋源五君） 市長。

○市長（森田俊介君） 他の都市が、大牟田市が5日に手を挙げられたということのようですが、これにはいろいろと事情があるんだろうと思います。大牟田市が前もって知ってたか、私は知りません。ただ、少なくとも、私どもはこのことについて知ったのは8月3日の報道ということでありまして、先ほど西方沖の地震のときのどうたらという話が出ましたけれども、私はその当時、県会議員でありました。そのときに、県議会の中でも、私どもは当時、県議会でアビスパ福岡とソフトバンクを応援しようということで、毎年、指定席を、自分たちで金を出して買っておりました。そのとき、そういう活動をしながらも、県議会の中でもそういう情報というのは聞いたことはございません。

もう一つ、言わせていただいていいですか、これを知らなかったのが市長の怠慢だということであれば、それは甘んじて受けざるを得ないと思いますけども、事実是这样でありますんで。

○議長（手嶋源五君） 18番実藤輝夫議員。

○18番（実藤輝夫君） 明確にしましょう、西方沖地震が起こったときに、あの周辺は被害を受けました。実際、被害を受けとるわけです。じゃあここは大変だねと、いつの日か移転ということも考えなきゃなんねんねということが球団内部であってわけです、それを知ってるかどうか、それを問うてはいません。これが出てきたのはそういうこと。

その次ですよ、2011年から、これから2軍、3軍、これは今度、新聞でも報道されたように、ソフトバンクが移転するというときになったときに、もう情報は流れまして、これは確実に移転するという動きが出てきたわけです。それで基づいて内部ではずっと話して、その情報が入ってきて幾つもの。とにかく、ここ論議する必要はないんだけど、余り。この8月3日に公表して、1週間で10の市町が手を挙げたということは、事前に調査、あるいは話を知ってるということが前提になって、もう既に大きな動きをしていた。これはきょうこの後から話す現在の動きに響いてるんですよ。後からまたこれやります。とにかく8月3日に初めて知ったということだけは私も認識しておきたいと思います。それではいかんということを前提に。

それでは、市長は他市町の動きをどこまで知ってますか、現在の時点で。

○議長（手嶋源五君） 市長。

○市長（森田俊介君） 他市のことから、ここで私がどうこう言うつもりはございませんけれども、少なくとも第三者的に見まして、大牟田市については三井鉱山の閉館後、例えば当時、ネーブルランドという土地がありました。あの土地についても非常に経営が悪いということで閉鎖をしております。そういったことで、いわゆる遊休の、これは市の土地じゃなくて三井関係の土地でありますから相当あるなど。

もう一方、一番、その次に具体的に地名を出された荒尾市、これは競馬場が閉鎖になり

ました。

○18番（実藤輝夫君） 名前は出してない。

○市長（森田俊介君） いや、これはもうはっきり出てますんでね。

○18番（実藤輝夫君） 私は出してない。

○市長（森田俊介君） 手挙げてますんで、早い手挙げたところから申し上げてるわけです。具体的な地名を出してる。そういういろんな事情があるんだろうというふうに思いますし、じゃあ誘致に向けてどういう動きをしてるかということについては、いろいろ情報入ってます。ですから、私どももいろんな動きをしようということで、ただ、それぞれの自治体もなるべく自分とこの動きがよそにわからないようにという形のこともありますんで、それには限度がありますけれども、ある一定、例えば一番最近のと言いますならば、最近というよりも宗像市です、一番テレビ等でも早く出されました、のことにについてはある程度の情報はつかんでおります。

○議長（手嶋源五君） 18番実藤輝夫議員。

○18番（実藤輝夫君） これは朝倉市が何かをつくる、ソフトバンクホークスの球団の球場をつくるということが前提の討議なら、これで頑張ってくださいでいいですよ。20を超える市と町との競争で、是が非でも朝倉市にソフトバンクホークスを誘致したいということであれば、相手を知り、おのれを知らば百戦危うからず、他市がどのような状況、それは秘匿事項と公事項というのがあるんですよ、うちでもやってるでしょう、集会やるということは公ですよ、これはどんどん喚起せないかんのですよ、うちはこれだけのことやってます、新聞にも出しましたね、これ、はっぴ着て、これを大いにやらないかん。おお、朝倉市はこういうことやってるよ、集会、何千人集会が行われたよ、ファンクラブがどんどんできる、これは公に出さないかんですよ、喚起せないかんから。内部の戦略、戦術は、当然、市長を中心としてどこでもじっくりと考えながらやってますよ。この2つを私は後から、この戦略、戦術の話の中でどれだけできるかわかりませんが、提起していきたいと思ってるわけですから、そのつもりでお聞きください。

今、言ったように、枚挙にいとまがないくらい出てるわけです。一つ一つやったらこれだけで1時間かかる。そうじゃなくて、大きな問題だけ取り上げましょう。宮若市が8月24日にこの新聞を出しました。これちょっとわかりやすくコピーしたんですが、これをつくるということは相当な金と人と動きが必要なんです、これは。つくられた方はわかると思います、私はこれチラシつくりましたが、簡単にはできませんよ、構成から印刷、そしてその後の配布、結構時間かかる。これは24日ということは、もう少なくとも1週間前。しかし、この中身がすごい。これはもう当然、市長は知ってるはずですよ、これは。これが何がすごいかといったら、まず24日の段階で、今回、12日に集会ができますが、この中で164団体が入ってるんです、164団体。その中に、24日までの1週間の間に、それ以前から、私たちが入ってない医師会、それから薬剤師会、歯科医師会、宮若市議会もこの中に

入ってますね。そして、すごいことは職員互助会、職員労働組合、部課長互助会、民生委員児童委員協議会、衛生連合会、自治会長、ここが大事なんです、自治会長たちも協力してやると。これ後からも述べますが、今現在の時点で非常に動きが鈍いというのは、この時点でもう自治会長たちはみんな自治会長会が入ってる。ソロプチミスト、脇田温泉旅館、それから地域公民館連絡協議会、宮若市婦人会、宮若市体育協会、いきいきスポーツクラブ、文化連盟、PTA連合会、社協、老人、これは入ってますけど、うちも。これぐらいが、まず組織団体として入ってるわけです。

その次に、120以下が企業団体が入っています。これだけを集めるというのは、きちんとするというのは、1日、2日ではできませんよ。少なくとも1週間、みんなの協力で、トヨタが中心になってやってるわけですが、こういった動きを私たちはすべきではなかったのかと、これからもすべきではないかということでこれを出しています。本当に参考になる。

今、後からも述べますが、今、私たちの広告、私はこれを自分でつくってやったんですが、現在、配布されてるものが、もう皆さん、御承知のとおり、こういうのでみんながやりましょうという形でチラシを配っています。そしてまた、ここの中にこういうのを、これさっき議会事務局からもらったんですが、さっき言った話、これだけしか載ってません。それでこれで今のところ終わってます。ポスターはずっと張られてますけど。一番インパクトを与えていかないかんのは市民、戦略、戦術は一応、置いといて、市民運動の中にこういったものをきちっとやっていく組織体がなかったということです、ばらばらです。つくった人間はわかると思う。このチラシには事務局が商工会議所と書いてある、それだけなんです、どこが出したかというのが。2枚目、このチラシになってくると、この8団体が出てます、後からです。どうして最初からこれのが一括でこういうふうに出てこないのか、これが問題だ。私も思うんだけど、あと自治会の話です、末端までいかにおろしていくかという運動体が完全に今、機能してない。それはなぜなのか。この前もちょっと話がありました、全協で。

だからこういった問題を私たちは遅くなったのが理由があるとか、何とかかんとかではなくて、具体的にこういう方法がなされてきているということでもあります。なぜ市長、他の市町村との関係を知らなきゃならんかといったら、私たちのほうはおくれたことをプラスにするならば、おくれたきた表明をプラスにするならば、他市の動きをちゃんとキャッチして、しかもそれを精査して、いいところをばちっととって、短期間に、もう13日が締め切りですから、その後、またこの話は今後のスケジュールで話をしていきますが、どうしたらいいのかという判断材料として、こういうものを参考にしていくプロジェクトができてないといかん。他市町を知らなかった、いろんな問題があります、そんなのは当たり前ですよ、企業誘致をしたことなければ、あるいは会社売り込みをしたことなければ、営業をしたことなければそういう発言になるでしょう。極秘情報と内部と外部的に盛り上げてい

く、今回は1つの企業ではありません、私たちは地方自治体ですから、市民をバックに、そして市民の盛り上がりをどうつくるかをバックに球団に切り込んでいくという体制がなければ、絶対にこれは他市から負けるというような状況になっています。こういうところで私は動きをとる。

それから3番目、国会議員や県議との話し合いはこれまでなされてきて、今後の動きはどうなってるのか、そこをお聞きしたいと思います。

○議長（手嶋源五君） 市長。

○市長（森田俊介君） 国会議員については地元選出の議員さんと、これは東京にたまたま別な用で陳情に行ったときに、そのときにお話をさせていただいております、うちも手挙げますという話で。県会議員については、ふだんの話の中で協力をお願いしますということを申し上げています。

○議長（手嶋源五君） 18番実藤輝夫議員。

○18番（実藤輝夫君） これは非公式ですけど、私の動きが8月20日を起点にしました。実は発表されて以来、8月の七、八日だったと思いますが電話がありました。これは私の知人の方から、きょうお見えになってませんが、知人の方から電話があつて、実は自分の知人、知人の知人の方が、これは森田市長も御存じの方なんですけども、それはいいです、それから、私の動きがどうだったかという話をしております。そのとき、私も何かアクションを起こさないかんという形でおったんですけど、そのときの話が、実はその方からの、またのまたですから、これは論議するつもりはありません、こういう情報が入りましたということです。これは何かというと、私の行動がそのときの電話で、市長と両県議とのセットで、今後のソフトバンク誘致について話をしていくように、今、しておると。私に電話があつたのは、議会のほうとしても協力してくれと。もちろん協力するわけですが、それでそういう電話がありました。それは、それから先、どうなったのかは全く承知をしております。それは、きょうこのテーマではありませんから、そうすると、やっぱり肩書のある方、あるいは行動してみんながついてくるというような形の人たちが中心になってやるということが十分、一番大事なことで、盆にもなりましたから、いろいろな諸事情がありまして、20日というのが全協で決められておりましたので、私はそこで1つの報告と同時に行動方針、何をするというようなのが打ち上げられるかと思いましたが、先ほどのような形でありましたので、その後の動きは自分なりにしてまいりました。国会議員、あるいは県会議員が、このソフトバンク誘致についてどれほどの役に立つかどうか、私もわかりません、これは球団という1つの民間企業ですから。それよりも孫正義さんとか、社長とか、王貞治さんとか、あるいは球団内部の方との接触が多い人のほうがかえっていいのかもしれない。しかし、人脈をたどっていったり、運動体の中に中心的にやっていたかという面では非常に心強い存在であるし、存在でなければならない、そういうことを考えました。これは、この論議は、そういう話がありましたというだけでいいんで

すけども、ただ問題は、その後の動きが、私の承知してる限りではなかなか朝農問題も含めて別途の候補地を探してるということで先に進んでない状況が8月20日の日に報告されました。そういった状況の中で、今日来た。とにかく3番目の問題は、今、市長が答えたようなぐらいで終わってるような気がいたします。

4番目は、これ先ほど見せました宮若市のトヨタがそこに工場があるわけです、全面バックアップ。私もこの朝倉市の中に大手の企業というのは麒麟ビールとBSですから、それ以外にもそれなりの企業はあります、大企業とは言わなくても中のくらいの企業は幾つもあります。そういう人たちがこのような形でバックアップするだろう、またバックアップしてもらうように市長が働きかけて、具体的に、ただ要望書を出すという形ではなくて、実際に動きをかけていくということを私は期待をしておりました。しかし、そういう状況ではなかった。8月28日に、各種、ここに書かれております団体からの要望書が出されて、8月29日の記者会見で、西日本新聞その他が市長が誘致に対しての表明をしたと、具体的候補地は幾つかあるというようなことがコメントに書かれておりました、新聞には書かれておりました。そういう状況の中で、企業とのかかわり、または有力民間人というのがいるわけです。それは名前を挙げるとあれですけど、朝倉市に観光大使だとか、いろんな協力をしていただいとる東京、あるいは大阪、そういった地元だけではない、そうした人たちの動きを、よその市はもうどんどん連合組みながら、協力し合いながら動いてる、こういう情報が入ってます、私には。ここで話す以上はガセネタじゃありませんよ。でも、それは私がこういう場でなければ、あるいは先ほど言った集会を開かなければ皆さん方に知らせることができない、こういう限界があるということです。

そういう動きを本当にこれまでしてこられたのかどうか、あったのかどうか、ちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（手嶋源五君） 市長。

○市長（森田俊介君） これはいいですということと言われましたけど、非常に気になる件が1点ありますんで、そのことだけは言わせていただきたいというふうに思います。いわゆる国会議員と県会議員さんの話です。3人で話し合う機会を持って、そのままになってるということが誰かが言われたと。

○18番（実藤輝夫君） そのままになってるんじゃない、そういう話をすると。

○市長（森田俊介君） ここで明確にお話ししますけれども、そういった話はございません。だからといってほったらかしてるわけじゃなくて、私は個人的にそれぞれの方にお話をさせております。だから、そういった、私、確認していただかないと、もし、それでそのままになってるということになりますと、私がいかにも消極的だというイメージを与えるんじゃないかなというのが心配がございますんで、そのことについては否定をさせていただきたいというふうに思ってます。

それから、先ほどのそれぞれの市、誘致しようという自治体の活動の話でありますけど

も、確かにいろんな面でおくれてるところはあると正直に思います。ただ、これは今からでも挽回できん話ではないと思ってますんで、いわゆる13日が締め切りですから、それからのスタートだというふうに捉えてます。ですから、それからのスタートでありますから、それからきちっと、そして今度は第2のところが10月の御存じのように中旬にございます。それに合わせた形の中で全力を挙げてやっていくということを申し上げたいというふうに思います。

○議長（手嶋源五君） 18番実藤輝夫議員。

○18番（実藤輝夫君） さっきの話は、私もここで話す以上はガセネタではないということだけはっきりさせてますが、ここで論議する話でもないんで、否定されれば否定されて、そんな話はなかった、あるいはしてないということであればそれでいいです。

問題は、そういうことを動いてる人たちがいた、そういう熱い心でそういう話が出てきた。それならば県議、国会議員を含めて、どういう動きで、個人的じゃなくて、現在はチームとして大きな動きをつくっていかないかん状況なんですよ。誰彼が個人的に交渉した、何の球団にもアピール性にもならない、だから話し合ったら、頼んだら、それが具体的にどう球団側にアピールできていくのか、私たち市民にどれだけアピールしてやろうという活動体として動いていくのか、そういうものとして私は話を展開しなければ、何のこれはやったやらんだ、風聞だ何だ、そんなことを私は言うつもりはない。ただ、そういう流れの中にあるんだということだけは認識してほしいということを言ってるわけ。

次に、球団とのかかわり、一つ一つ出してますけど、これはやっぱりいろんな話があります。宮若市は、これはもう非公式ですから信憑性はわかりません、私も風聞です。しかし、これはある筋からの話です。もう既にトヨタは全面挙げてやる、これは宮若市の市民は全部知ってます。だからこそこういうのが出てくるわけです。私も入れてください、私もやりましょう、私もやりましょうですよ、今から24日の日ですから、これは、きょうここでその信憑性を問う必要ありませんが、トヨタの社長が電話で孫会長のほうにぜひお願いしたいというような意向を示した。これはそれが事実かどうかは別として、そういう形が市民の中に入っていくということは非常に心強い。

私はキンビールの話が候補地として上がったという、その前に私は候補地じゃなくて、この話が出たときに、キンビール、BSたちが全面挙げて朝倉市の誘致に対して応援しますよというメッセージを送る、あるいは行動するということだったのかなと思ったら、全然違ってたというのが私の集会でわかりましたが。だから企業誘致のときには、あらゆる角度からそういった人脈なり行動を起こしていかなきゃならなかったんだ。これからもそれをしなきゃならんということの前提にこの総括をするために、今、私は質問いたしております。

どうもそういった動きも市長の動きが今日まで、私を含めて一部の議員、あるいは一部の皆さん方には知ってある方もおるのかもしれませんが、これが私を含めて十分な承知を

していないということは大きな問題だと。こういううねりが決定表明は、正式表明3日でもいいんですよ、それまでの流れの中に同時並行として朝農跡地という問題も、市長は非常に最後の最後までそこを選定するということはなかったんですけども、これも後からその話をしていきます。問題点がクリアしなきゃならんというのは、私もペンションつくったり、自分の家、いろんなものをつくってきましたから簡単ではないですよ、一つ一つやっていく。同時並行でやらなければ、来年やりたいというときには、私もいろんな人が来られる、設計をつくる、地元説明に行く、農振除外に行く、一つ一つ行きよったって間に合わない、全部並行してやりました。だから今もありますけども、あれが大したことはないかもしれません、あれ3,600坪あります、1万平米あります。あれもいろんな人たちが入ってて、その人たちと交渉して、地元に行って、地元との交渉して、それをこれが終わったら次、これが終わったら次、そんなことやって二、三年かかっちゃう。そうじゃなくて、全部並行して一気にやりました。だからおかげさまでああいうのができることができました。用地もそうです、一緒ですよ、みんな一緒に走っていかなければ間に合わない。

9月13日が締め切り、そして、その次に今後のスケジュールについて後で論議しますが、もう時間が刻々、刻々来とる。こういう中で市長の動きが、本当にここの中の議員さんたちの中から、そこは言わんでちゃよかろうもんと言う人が出てくるかしらん。とんでもない、これは朝倉市の浮揚。きのうも話があったように、雇用はほかの企業を持ってきたほうがいいんじゃない、とんでもない。私が聞いた、あるいは私なりに調べている経済効果、これは向こうの球団方の間接的な人の話、朝倉市は雇用が対応できるとなと、逆にこっちのほうはそれだけの雇用を供給できますか、いろんな話が来てます、これも時間があつたら後で話をしていきますけど。こっち側の受け入れ体制のほうを心配している。雇用をびっくりするぐらいにいろんな業種にまたがってくるんです。想像してください、これがある、これがある、これがある、だっと出てきます。だから会社を幾つも受け皿としてつくってもいいぐらいに需要はあるわけです。だからそういった問題を考えていかなきゃならん。

市長の姿が余り見えないんですけど、市長、ここでこれまでの経過、これはまだ前半部分はきょうまでの動きを問うてますから、そこをちょっと、今までの動きをどのようにされてきたのかを説明してください。

○議長（手嶋源五君） 市長。

○市長（森田俊介君） 先ほども話ございますように、8月3日の報道でこのことを知りました。8月3日が土曜日でございました。月曜日にすぐに市役所のほうでいわゆる新聞の情報だけでは詳しい情報がわからないということで、すぐにこのことについて情報を集めてくれということで指示をいたしました。その中でずっといろんな具体的な情報内容がわかってまいりまして、その後、じゃあ朝倉市内にこれに合致するような土地がどのくらいあるのかということを選定をさせて、複数出てまいりました。最終的には2カ所という

形の中で、その1つが朝倉農業高校の跡地でありますけれども、2カ所になりました。それにつきましても、いわゆる一方ではそれを表に、私どもは例えば片一方は民有地ですから、企業の用地ですから、その所有者の了解が得なきゃならない。片一方は、実藤議員、よく御存じのように、朝倉農業高校の跡地については、これまでのずっとしたいろんな経緯があるのは十分御存じであろうと思います。それにかかわった関係する方々、あるいは関係する団体について名前を出すには、そこらあたりの了解、名前を出させてもらいますという了解をとる努力をずっとしてまいりまして、ようやくそのことが了解をいただいたということで、片や、片一方の民有地についてはなかなか了解がいただけないというようなことで、最終的に選定については朝倉農業高校の跡地にしようということになりました。

一方、実藤議員が言われる、それと一緒に市民の運動をしていかなきゃなんということでもありますけれども、そこはいろいろ考えました。いや、例えば具体的な場所を確定せずして、市民の皆さん、応援してくださいと言えるのか。いろいろ考え方があると思いますけれども、やはりきちっとやるなら、私は責任を持って、この場所を朝倉市としては最適な場所と考えるから、市民の皆さん、応援してくださいよというのが行政としての努めだというふうに考える。もちろん、だからといってそこまで何もしないと、何もなかったということだけではないということは御理解をいただきたいというふうに思います。

○議長（手嶋源五君） 18番実藤輝夫議員。

○18番（実藤輝夫君） 2つ、今日おくれた理由の中の弁解か弁明か知らないですけど、ある議員さんたち、あるいはほかの人たちからも、市長がおくれたのはしょうがなかったんだ、仕方がなかった。1つ目は、突発的な問題だったんだという意見がきのう6番議員かですか、質問あったときに、市長もそうだと言いました。私が一番最初に、これいつ知ったかという話で、突発ではないで、よその市は当然これが移転するということを知ってた、突発ではない、だから2日後にもう手を挙げた、これはいろんな、さっき言うたように、市長が言う、大牟田市に限らず、どこの市も、満額、全部、あつという間に手挙げれるようなところは1つもない、私、調べたら。何らかの形で問題はありますよ、これ見てください、見ましたか。1つ、私たちは闘わないかんのですよ、競争しないといかんのですよ、勝たないかん。相手方の状況を見られて、そしたら、みんな手を挙げながら同時並行でこの問題について検討してきてる。市長の言うように、ワン・バイ・ワンという話になってくるとずっとおけてくる。ここの中でおけても大丈夫なのは福岡市と小郡市だけ、あとは一生懸命になってやらないと、同時並行で解決して、朝農の校友会、あるいは農協、これ大事です、信義を持ってやらないかん、体育館の体育協会もそう、しかし、市長が本当に必要と思うならば、私たちは民有地も大事かもしれないけど、どんなに考えても8月3日から9月13日、40日しかないのに、民有地を提供するような事前準備は全くなかった。こんな中で本当にホークスを誘致したいならば、もう短期間の間にやれるもの、そして条件が整備されてる、一応100%ではない、これを進めていくというのが大事だっ

たんだ。だからワン・バイ・ワンの話は、1つのことが起こればそういう結果的な説明があり得る。そこだけ聞けば、ああ、そうですね、なるほどねという考え方もあるだろう。そういうふうにな納得される方もここにはおられると思う。

しかし、よその他市町のいろいろ私なりのネットワークで聞いてみますと、それぞれに問題がある。この中で、まずずっと行けそうなのが5つしかない、私がこれ見たときにずっと行けるのは。1つは、福岡市はいろいろまだ、それも全部問題がある。それから小郡市、福津市、宮若市、一番最初に熱意のある大牟田市と挙げときましょう、これは私が選定してるわけで、きょうはこれ私がこういう立場の中でターゲットをどう決めて、競争していくときには、これ後からも時間があるかどうかわかりませんが、非常に重要なことで、9月の下旬という話だ、ここははっきりしてる、議員の中にも知ってる人がいるんですよ、何日の日というのを、後のスケジュールまで全部日にちまで知ってる。そういう話の中で、それはあなたが首かしげても、ちゃんとこれ、よそこからでも出てきてますから、よその市は全部知ってるんですよ、こういうスケジュールが。スケジュールがあるからこそ、それに対して行動方針をつけてる。13日と決まったから13日までに書類提出しないかん。では、今度は9月下旬という何日ということがあるから、そこまでの間に選定されてプレゼンテーションをしていかないかんというのが決まってくるわけ。だからそういうことをきちんと市長は理解した上でこれまでやってきたかという話を、これは8月3日、調査したときに、球団側の提示で、あと内々に具体的な話になってきたときに、これが提示されてるわけ、今。どこの市も手を挙げたところは全部知ってる。議員も知ってる。市民の幹部たち、それも知ってる。だから急がないかん、こういう方針とらないかんというふうになってるわけです。

これが、先ほどの理由のようなこと、まことしやか、そこだけとったらそのとおりだね。そうしたら市長が決意表明おくれたのも仕方がないねという話に納得するわけですよ。でも、違うだろう、よその市は。問題を抱えながら同時並行でやってきたという経過がある、そして今日に至ってる、そして次のネクストを考えながら行動、今、移してるという状況の中に、私は市長が絶対、叱咤激励しながら、これは叱咤激励の1つの意味もあるわけです、あなたが中心にならなきゃだめなんだから、これは、地方自治体が、応募する権限は地方自治体だけだ、地方自治体の長は市長なんだから、私が幾らここで張り上げて、私の行動をまたほかの人たちも期待してますけど、私が幾らやったって、それは別働隊、起爆剤しかない。だからあなたが中心になったらみんなついて行きますよ、議会もついてくる、各種団体もついてくる、企業もついてくる、だからそれが今、見えないということ言ってる。だから今まではそうだったかもしれないけど、これからは、もう9月3日からきょうまで1週間たってるわけだから、こういうことを踏まえた反省をもとに、これから先、18分ですけども、次の展開に移っていきたいと思います。

そこまでを簡単にお願いします。

○議長（手嶋源五君） 市長。

○市長（森田俊介君） 確かに候補地をはっきり選定をしていたのは、要するに遅いかもしれません。ただ、その前には手を挙げますよ、私たちも朝倉市も立候補しますよということ。これは意思表示はさせていただいておりました、その過程の中でそういうことは。ただ、今、盛んによその都市は前から知って準備されとったという話がありますけども、これはあくまでも仮定の話であります、少なくとも朝倉市につきましては。

○18番（実藤輝夫君） 仮定の話じゃないよ。

○市長（森田俊介君） いや、それを前提に話されてるところがありますんで、そのことだけは申し上げておきますが、朝倉市は少なくとも8月3日に初めて知ったということがあります。だから先ほど申しましたように、このことが市長の怠慢だと言われれば、甘んじてそれは受けなきゃならんだろうというふうに思ってます。そして、今後ありましたんで、今後、言われますように、日程が大体決まっています、これから先の、最後がどこだと決まっています。それに向けてどういう活動、運動をしていくかということについては、すぐに私はもう既に担当に指示をして、それに合わせた形の中で市民の皆さんと一緒に盛り上がって、ぜひホークスのファームを誘致するような活動を計画しなさい、もう既に計画はある程度、できてると思いますけども、そういう指示を出させていただいております。

○議長（手嶋源五君） 18番実藤輝夫議員。

○18番（実藤輝夫君） まず1番目の移転計画を知らなかったということが怠慢だったらそれは問題である、ここで謝りますというような形ではない、そこを追及してるわけではない。その後、8月3日に知ったなら知ったでいいんです。その後の経過がどうして今日までずれ込んできたかということ、ほかの議員さんたち、ほかの何人か、いろんな人が仕方がないね、突発事故だったからとか、仕方がないねという話になるかもしれないけど、同時並行で、今日、大事なことは、今後のスケジュールの中で、時間が足りなくなってきましたけど、踏まえた上でやりましょう、今度はどうするかということ。やっぱりプロジェクトができてなかったということです。これは私は一番最初的时候、8月20日の日にプロジェクトチームをつくったとか、ずっと言ってきた、議会の全協で、テープ聞いてください。でも、今日までできてない。それは市長は全体的につくってなかったからですよ。いいですか、ただ叱責をしてるだけじゃない、これから先、やっていかないけない。

きょう私は、これ皆さん方、見てください、これは案です、こんなものは私がつくったからといって、これが実行できるかどうかわかんない。でも、一市会議員として、一市民として、何かこれで動く本体をつくっていかなくちゃいけないんだと、こういう形でやっていくべきだという私は考え方を持っています。くだらないかもしれない、プロがつくったものからするとちゃんなものかもしれない。しかし、日々ふだんに何かを行動していかないかんということで、こういうふうな誘致委員会をつくっていく、そこには球団側に対してどう働きかけていくのか、2つあります。市長を中心として、副市長、市議、市幹部、民

間人を中心としたプロジェクトチームをつくる。今、できてない、この時点でもまだできてないんですよ、指示を与えた、今、13日の締め切りに向かってどうするかという、職員はもうきのうの話、徹夜ぐらいするつもりで一生懸命やる。ここ午後から、後から全協でやるそうですけども、そういうものに忙殺されてる。だから市が、市民だけがするのではなくて、初めから今回こういうふうな提案を、要望書を出してきた人たちと市議会とが手を組んで、もう既に誘致の会ではなくて、誘致実行委員会、委員会をつくってプロジェクトでやるべきじゃないですか。

だから今回、皆さん、気づかなかった、先ほど言いましたように、1枚目のビラはどこが出したか、商工会議所事務局しか載ってません。こういうのが責任の所在をして、いろんな人が集まってきてこのようなものができ上がってこそ、市民は本当に信頼できるんです。今度、これができます。私もこれに言うだけのこと、後ろにも来られてますけど、240名、メールで出しました。そして返ってきてます。あのとき行けなかったから、きょう来れなかったから行きます。私は足を引っ張ってるんじゃない、一丸となってやるためにどれだけ努力してるか、私が個人的努力をここで言うつもりはありません、そんなことはどうでもいい、児玉源太郎が言ったように、この戦争に勝つことだと、そういう話で考え方で言ってます。

この中にこれが出てきました。この次はまた出てくるんでしょう、また今度は次のこういうのが出てくるのかどうか、今、一番問題は何だと思えますか。コミュニティ協議会がばらばらになってる。やるところは一生懸命やってる、しかし、根をおろしてまだ末端に来てない、私たちのところにも来てない、それはいろんな事情があるんです。それはなぜ事前準備の中に、緊急だからやってくれと言われたって、そう簡単にはいかないでしょう、組織団体は。みんなを集めて、みんなの了解をとって、そしてやっていく、だからコミュニティ協議会が配布することに対して意見が出て、即、行けなかった。どこに責任がありますか、こういうものをつくって、パンフレット1つ、チラシ1つでも、ここの話で、市長を中心にして、副市長、市議、市幹部、民間人、これは一般的にこういうものに詳しい人を入れ込むということです、そしてプロを入れるんです、各種団体、これ先ほど読みました、こういうのが当然、今、入っておかなきゃいけない、企業150、とんでもない、まだまだ、どんどん入ってもらって、そして一番大事な市民が、今度、12日にやりますけど、私は1,200人どころか2,000人集会にしてほしいという気持ちで、今、協力をしております。私ができることはそれしか今、ありません。また後、プロジェクトチームその他でやっていきますけども、言うだけのことは自分なりにできる限りはやってます。しかし、それは微々たる力です、微々たる力。やっぱり市長を中心として、ここに国、県、市、企業、これは外部団体です、これは内部団体です、市民です、こういうものを中心としてプロジェクトをつくって、一日も早く、きょうの昼からでもいい、そして市民向けにどう対応していくかという人たちの集まり、これをつくる、それから、これからでも間に合うと言った

けど、これまさに間に合うんです、13日。しかし、後から述べますけど、もう余り時間がありませんけども、刻々とタイムリミットが来ています。この中に皆さん、これが1つの大きな、1つの私の案です。早急にやらなきゃいけない、この時点でできてないんだから。

もう一つ、もう一つはスケジュールの問題。きのうの答弁で、9月下旬に候補地決定、何日間ありますか。13日の締め切りまでに、やっぱり締め切りのための活動します、一つ一つの動きをします。26日、2週間しかないんですよ。東京オリンピック、毎日皆さん見てると思います、どういう見方をしてますか。朝倉市にソフトバンクを誘致するならば、どういう方法がやってきたのか、東京オリンピックの誘致はどういうふうにやってきたのか、それをこれを取り入れていいところ取り入れてやる、ロビー活動がどれほど重要だったか。競争なんだ、皆さんは本当に市の職員も市長も含めて、本当に営業で売りまくったことがあるのか、競争で、そういうことを経験したら、簡単なやり方ではとてもとてもとれない、相手が強ければ強いほど。そして、きのうも「半沢直樹」がありましたけど、それで一生懸命、市長も努力してますよという言葉はどこから聞いたんですけども、努力ではだめ、結果を出さなければ左遷です、民間企業は左遷です、それは半沢直樹が一生懸命やった姿が、あれはフィクションですけども、事実も踏まえてやっています。そういうことが現実にできていかなければ、本当の誘致活動はできない。これだけすごい、皆、二十幾つかが全部相手ではありません。私は恐らく9月26日というふうな形で、あちこち私もネットワークから聞きましたけど、市から聞いたわけじゃないですよ、これは9月下旬としか言ってませんから、よそはもうみんな知ってる、それに照準合わせて、今度は内部でプロジェクトをつくって、そしてプレゼンテーションの仕方、プレゼンテーションも、今度、東京オリンピックで何十回、彼らは全部、1つのスケジュールつくって、プログラムをつくって、それに誰を当て込んで準備をして、そういう形の中で彼らが一生懸命やってきた、繰り返し、繰り返し、繰り返しやってきて、そういう活動のもとに、そして一方ではロビー活動をやり、東京を中心とした日本全国に東京オリンピックの誘致活動の機運を上げてきた。この三位一体の行動が東京オリンピック。それはもちろん全部、イスタンブールもマドリードも東京もみんな問題抱えとった、みんな問題抱えとる、消去法かもしれない。しかし、それでも東京は勝ち取った。しかも倍ぐらいの数字で勝ち取る。これはロビー活動、こういったプロジェクト、みんなコメントはそうです。これは今、うちはなされてないということに、市長、あなたがトップなんだから。

時間がありませんからもう一つ、言っときます。9月26日が候補地決定ですよ。知らない人はしっかり覚えとってください、一部の議員さん知ってますから。それから10月8日、プレゼンテーションがこの間に行われます。たった2週間の間に決定されて、数社、恐らく私の計算では、はっきりしませんが、情報では5つぐらいだろうと、それはわかりません、ここはここで論ずる話ではない。しかし、その数候補地に乗るか、私は朝倉市のこの朝倉農業高校は立派な条件に合う。球団が私たち全協に、議員に示された条件にばっちり

合います。ほかの市を見たら、民有地が入ったり、平米が小郡、足りない、いろんな問題があるんですよ。今現在の時点において、私がこれ客観的に見て、朝倉農業高校が一発で行ける可能性がある3つ、4つの候補地に入ると確信を持って私は言えます。だから一番最初から私は朝農跡地しかない、ここに焦点を落としてやるべきだ、これが行政、企業のやり方なんだということで訴え続けてまいりました。

もう一つ、9月26日から10月8日、これがプレゼンテーションがこの間に行われます。たった2週間で選ばれたところがやっていくわけです。もうプレゼンテーションに入る予定で、入るつもりでこれをやっていく、プロジェクトチームの中であっちゃこっちゃから専門家を呼んで、そしてプレゼンテーションが市長がやる、あるいはその他の人が幾つかやる、どういう形式かわかりませんが、そういうことを想定しながらやっていって、繰り返し、繰り返し、繰り返しこういう訓練をやっていく、これが私は大事。そして10月31日に優先交渉権者が決定される予定になっています。しかし、これは最終決定ではありません。優先交渉権者が一、二、またそこから選ばれてくるわけですが、一、二ぐらい選ばれて、そしてもう一回、交渉して、12月に最終決定がなされる。こういう情報は私たちは正式には議会は受けていない。一部の議員は知ってる、あるいはほかの人も知ってるんでしょう。しかし、こういう形で極秘でだめだ、プロジェクトチームをつくって、その中に話をして、そしてそれが極秘のものと極秘でないもの、そういうものをきちんと選定しながら、そして運動体をつくっていく、きょうからでも間に合うことは間に合いますので、ぜひそういうふうやってほしいと思うんですけど、これはまた時間がかかりますのは、とにかくコミュニティ協議会が動いてないということだけははっきり承知しておかないとだめですよ。

○議長（手嶋源五君） 市長。

○市長（森田俊介君） いろいろと御指導いただきましてありがとうございます。1つ気になるのはコミュニティ協議会の話です。実はあれは持ってきたの11日やった、商工会議所とか、とにかく市内の各団体から要望をいただきまして、ぜひ朝倉市にホークスのファームを誘致してほしいという要望をいただきました。その中にコミュニティ協議会の方、入ってありました。確かに言われるように、もう既に動いていただいているところもあります、コミュニティの中では。そういうことも含めて、実はきょうコミュニティ協議会、各協議会長さん、お集まりいただいて、私のほうからお願いを再度することにしてありますんで、そういうことで今後、言われますように、先ほど言われましたように、はっきり言われました、9月の13日がいわゆる公募の締め切りです。それから9月の26日、10月20日という話が出た。そこに向けて、いわゆる第1審査、それから第2審査、それに向けて、先ほど申し上げましたように、こちらのほうとして準備をしておきなさいという話をしますし、例えば第1次審査残ったとして、じゃあプレゼンテーションというものがどういう形であるのかというのもまだはっきりしてないんです。ですから、それはそれとして準

備はするということで話をしておりますので御了解いただきたい。

○議長（手嶋源五君） 18番実藤輝夫議員。

○18番（実藤輝夫君） まあその他は知りませんが、私は66歳にもうすぐなりますが、いろんなことをやってきました。その中でいって、今回はもう絶好のチャンス、私も甘鉄を残すときには前線に立って、町民からやかましく言われながら、そして塚本倉人元市長のところに行って参謀本部を何々人の甘木町だけで柿原議員とか、松尾議員とか、そういうメンバーと一緒にやってきた経過があります。それ、私たちができることはそれでしたから自分たちが中心。全体を動かしていくということは、やっぱりヘッドがやらなきゃいかん、今の話聞いてても、今、また集まって、きょうは10日ですよ、13日の締め切りで、今、あなたのきのうの話では、市長が6番議員から話があったときに、大変でしょう、徹夜してでも、みんな一生懸命やってるじゃないですか、これ、プレゼンテーションのための何か委員会をつくってる、そういう指示じゃなくて、各種団体、これだけの各種団体、議会もあるんだから、これだけのそうそうたる、そしてしかも先ほど言ったようにこれに載ってない、地方に根差した、地域に根差した組織団体がたくさんある。それ、さっき一番最初に紹介した、これが言いたかったからですよ。その人たちの力を結集するのがいつなんですか。もう締め切りが終わって、プレゼンテーションの候補地を選ぶ段階に入ってきて、本当に私は今、立地条件は絶対に一番だと私は思っています。いろんな問題、この朝農跡地を選定したことによって、3つのインターから10分以内で来ます。これだけすばらしい12ヘクタール、農協の体育館もその他4ヘクタール残ってるわけです、まだ、1万2,600の農振のかかっているとこを外しても400と4万平米残ってる、両立できる、相乗効果が期待できる、これほどすばらしいとこない。そして386、今は一般県道になってますけども、ここは観光ルートのすごいとこです、南九州に行くとき、幾つものルートがありますが、その中の1つ。これほど立派なすばらしい立地条件を抱えたところはないという確信を持っています。

今、最後に、時間がもうありませんので、先ほど言ったスケジュールは、もう待ったなしです、もう候補地のために動いています。これも皆さん方にお知らせをしてる、ここでまた信憑性がどうか、そんなことは大事な話のときに、やるぞというときには、市民を喚起するような話を自分たちは持っていくということ1つです。最初は、これまでのあり方が余りにも私から見たら拙速という形、それを今後、今でなく、きょうつて、いつできますか、実行委員会、あるいは誘致委員会、名称は何でもいいですけど、こういう状況の中でつくっていかないかん、13日、締め切りが終わりました、はい、じゃあプレゼンテーションに向けて、もうこれ、選ばれることを前提にやるわけですから、それからプレゼンテーションはプレゼンターのプレゼンでどうしましょう、どうしましょう、そんなことでどういう形式かわからない。あらゆる形式、これも先ほど言った日露戦争の東郷平八郎は3案あって、その中、最終決断をして、そして対馬決戦に向けて一丸となってやったわけ

ですよ。歴史は全て教えている。だから最終的にはそういう計算のもとにやっていかなきゃならない。そして、これをミスったら、この最終、26日までの間に、あるいは20日かもしれない、これは最終決定、球団が決めることです。しかしそれに乗っからなかったらみんな水泡に帰してしまいます、全部。たった1市しか最終的に選ばれない。その前の事前に5つか6つかわかりませんが、少なくとも私は立地条件候補地としては朝農は最適であるという自信を持って述べてほしい。

しかも、このチラシの中、議会の決意表明の中、決議案文の中にも朝農跡地は1つも載ってない。いいですか、朝倉市が今、出してるチラシ、パンフレット、ポスター、帰りがけに見てください。朝農跡地という言葉、ここは24日の日にこういうふうな形で、もうちゃんと候補地をつくって出るだけです。決まるのが遅かったと言うけど、9月3日には決まったんだから、9月3日に決まって、今、ポスターをどんどん9月3日からつくってるんだから、課長がそう言いました、9月3日からチラシとポスターはつくりました。そして何でこういうふうに乗せないんだ、みんなどこですか、今さら問い合わせがあつてますよ、どこに誘致するんですか、知ってるのは一部の人たちしかないんじゃないかという話もありました。

市長、私は最後に簡単に、20秒ですから、決意表明だけして、私はエールを送りますから、一緒に頑張りましょう。

○議長（手嶋源五君） 市長。

○市長（森田俊介君） 当然、手挙げるからには参加することに意義があるというわけにいきません。

○18番（実藤輝夫君） そうです。

○市長（森田俊介君） 私どもは、確かに言われるように遅かったかもしれませんが、今後、今、準備しておりますので、いろいろ団体を含めてしっかりやらさせていただきます。

○議長（手嶋源五君） 18番実藤輝夫議員の質問は終わりました。

以上で、通告による一般質問は終わりました。

これにて一般質問を終了いたします。

10分間休憩いたします。

午前11時1分休憩